

4月7日に行われた愛知県議会議員選挙において初当選をさせて頂き、4月30日から県議としての任期がスタートしました。 選挙期間中に多くの皆様から「県議の仕事が見えない」「県政の情報が少ない」という話を頂きました。そこで、今後「日記形式での県政報告」を定期的に発行することに致しました。ぜひご一読いただき、県政を少しでも身近に感じて頂けたら幸いです。



5.27 参知県議会臨時議会

知県議会臨時議会が開催されました。知事 の提案説明の中では、刈谷北高校に関連し た内容が2箇所出ました。「(株)豊田自動織

機とのグラウンドの交換は、教育環境の向上等のメリットもありますので、2022年度中を目途に土地交換を行えるよう、協議を進めてまいります」「刈谷北高校では普通科の国際理解コースを国際教養科に改編を行った」どちらも既に知っていることですが、本会議の場で母校の名前が出ると嬉しいですよね。

正副議長・正副委員長・監査委員のほか、委員会の配属も決まりました。私は常任委員会は希望通り [福祉医療委員会]ということになりました。主な所管事項は社会福祉・社会保障制度の充実、少子化対策・超高齢社会への対応、保健衛生の推進、保健所・県立病院の運営、福祉局・保健医療局及び病院事業庁の行政運営についてです。そして特別委員会は[安全・安心対策特別委員会]です。こちらは、県民の暮 らしを守る強靭な県土、安全なまちづくりに係る諸問題が主な項目です。

そしてその両委員会共に偶然にも、同じ刈谷市選出の永井議員と同じ所属となりました。とても心強い存在です。判らないところはしっかり指導を受けながら、愛知県・刈谷市の発展のために尽力して行きたいと思います。



5.30₺

名豊道路建設推進協議会の総会

豊

橋市で開催された[名豊道路建設推進協議会の総会]に出席しました。会場は愛知大学豊橋キャンパスの近くにあるアイプラ

ザ豊橋という施設です。当初「車で行こう」と思っていたのですが、車で行くとなると渋滞等の可能性もあり時間が読めません。結局、名鉄と豊橋鉄道を乗り継いで行くことにしました。

この国道23号名豊道路は、名古屋と豊橋を結ぶ8市1町を通過する延長73Kmの大規模なバイパスです。[知立バイパス=16.4Km][岡崎バイパス=14.6Km][蒲郡バイパス=15.0Km][豊橋バイパス=17.6Km][豊橋東バイパス=9.2Km]から構成されており、全体の約9割にあたる延長約64Kmが開通しています。また、開通区間のうち約5割(延長約31Km)が

4車線で完成しています。

そして唯一、蒲郡バイパスの一部9.1Kmが未開通といったことになっていま



すが、この蒲郡バイパスについては2019年度は2018年度に比べて約1.6倍の予算が付いていますから、今年度の整備が大きく前進することを期待したいと思います。

この会議に出席するために、時間的な安全を期して 鉄道を使った・・・結果的にはこの道路の必要性を物 語っていましたね。

6.7 ② 「衣浦」と名の付く2つの会議

議から県議になって変わったことの一つに「市外での会議が増えた」ということがあります。もちろん議事堂は名古屋にありますから議会そのものも市外なのですが、それだけではなくて各種「促進同盟会」のようなものが市外各所で開催されるのです。今日は午前・午後で2つのそうした会議がありました。

午前中は半田市の雁宿ホールで行われた『衣浦大橋整備促進期成同盟会総会』です。「夢の架け橋」と言われて建設されてから既に63年が経過しているト

ラス橋の架け替えの早期実現について、国や県に積極 的に要望活動を実施することが承認されました。

終了後、先ほど議論となった衣浦大橋を見る目的を兼ねて、半田市から海底トンネルではなく衣浦大橋を使って碧南市に移動。

碧南商工会議所で開催された『衣浦港振興会通常総会』に出席しました。衣浦港は昭和32年に「重要港湾」に指定されて以来62年が経過、この振興会も創立60周年を迎えます。こちらも、愛知県や国に対して衣浦港の振興に関する要望等を行っています。

6.11 €

> 初めての福祉医療委員会開催

が所属をします福祉医療委員会の初めての委員会が開催されました。議会の閉会中でも委員会は開催出来ます。その点は刈谷市議会でも同様なのですが、20年間の経験の中で



はそのような例は 一度もなかった(も しかしたら、緊急の 場合に開催したことがあったかもしれませんが、記憶

は不確かです)。6月定例会は14日に開会しますから、今日は議会開催中ではない委員会と言うことで、 刈谷市議会のやり方に慣れていた私としては不思議 な気持ちでした。

内容としては、議員側と理事者側の自己紹介の後、 委員会の所管事項についてそれぞれの担当者よりの説明でした。福祉局・保健医療局・病院事業庁と県民のくらしと密接に繋がっている重要な部署ばかりです。

戴いた250ページ近くにも及ぶ分厚い[事務概要]の冊子を見ながら、しっかり勉強をしなければならないと改めて気を引き締めています。

6.14 📾 > 6月定例会 開会

愛

知県議会令和元年6月定例会が開会しました。傍聴席はほぼ満席でした。刈谷市議会との違いで先ず驚いたのは、本会議の前

に開会式が行われることです。議員全員が起立をした状態で[議長あいさつ]と[知事のあいさつ]があり(写真)、その後に[鐘]が鳴らされ、開会宣言が行われました。

そして6件の報告があった後、全ての議案を一括 議題として大村知事から提案理由の説明がありました。はじめに天皇皇后両陛下の行幸啓及び第70回 全国植樹祭並びに秋篠宮皇嗣殿下のお成りについ て触れた後、県政を取り巻く最近の状況として次の 分野についての説明がありました。

- 最近の経済情勢と本県の財政運営、経済・産業の活性化
- 2 防災対策の推進
- 3 医療提供体制の充実・強化
- 4 第20回アジア競技大会
- 5 ジブリパーク
- ⑥ 2023年技能五輪国際大会の招致
- 7 国家戦略特区
- 8 中部圏知事会議
- 9 リニア中央新幹線の建設促進
- ラクビーワールドカップ2019
- 1 自動運転社会実装推進事業
- 12 新体育館
- ® あいちトリエンナーレ2019
- 極 愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」
- (5) 交通安全対策
- (6) 安全・安心なまちづくりの推進

会期は7月3日までの20日間です。議会進行上のルールもまだしっかり把握していませんので、慌てず急がずじっくり取り組んで行きたいと思います。

この中から、[自動運転社会実装推進事業]の本年度の計画と、6月11日に新たに基本計画が発表された[新体育館]の概要について紹介しますと・・・

「自動運転社会実装推進事業]

本年度、活用目的に合わせた次のような3種類の 実証実験を行います。

①愛·地球博記念公園(長久手市)

「テーマパークにおける移動」をテーマに、ゴルフカートを改造した遠隔操作の車両で人工知能を活用し



た配車などを実験

②日間賀島

島の外周道路で観光サービスを提供しながら走る 電気自動車のバスを運行

③中部国際空港島(常滑市)

8月30日の国際展示場「アイチ・スカイ・エキスポ」 の開業時に、展示場入り口から駐車場やホテルなど の間で遠隔監視の乗用車を運行

[新体育館]

【建設することになった背景】

◎現体育館は、1964年10月の東京オリンピックの直前に完成し、以来、半世紀以上、夏の風物詩にもなっている大相撲名古屋場所の開催などを通して、県民に親しまれている施設である。

◎しかしながら、施設の老朽化とともに、同じ頃に建設された、国内の他のスポーツ施設と同様に、規模、機能とも国際水準を満たしていない。

◎2026年アジア競技大会に利用できるよう、新体育館の整備に向けた準備を進めることとした。

【基本的な考え方】

新体育館は、国際大会を開催するために必要な規模、機能を有することで、国際スポーツ大会などの誘致を可能とし、かつ大相撲名古屋場所の開催など現体育館が担ってきた伝統や歴史をさらに発展させていく愛知・名古屋のシンボルとなる施設を目指す。

(計画検討敷地)

■所在地 名城公園北園の一部

■面積 約4 6 h a

■管理者 名古屋市(土地は国有地)

■主要アクセス 地下鉄名城線

名城公園駅(徒歩約1分) 市役所駅(徒歩約10分)

6.19 3 | 悔しさと驚きの 一般質問

知県議会6月定例会。今日は一般質問が 行われ7名の議員が登壇しました。

刈谷市議会との相違点で驚いたことは、

一般質問が1人50分以内(質問30分・答弁20分)と短いことです。また、1回に限り自席での再質問が認められてはいるのですが、再質問する方は少なく、多くの方が自席で[要望]をして終了となります。つまり、刈谷市議会の一問一答方式のように相互のやり取りがないのです。

そして質問者の人数はこれまでの実績からすると 一日に7名。午後4時50分を過ぎたら次の質問者 には入らないというルールになっています。6月議会 は一般質問が2日間行われますから、合計14名の 議員が一般質問に登壇するということになります。

102名の議員のうち僅か14名だけですから、 ルール上は「全ての議員が一般質問を行っても良い」 ということになっている刈谷市議会とは大きな違い です。そしてその14名はどのように決まるのかと言 うと、会派の人数に応じてドント方式で割り振られる のです。従って今回は自民が8名、新生あいちが5名、公明が1名。残念ながら[無所属議員]への枠はありませんでした。

一方、「素晴らしいなぁ〜」と思える点もあります。 それは、答弁の最後に必ず知事自らが答弁をされる のです。しかも原稿を読むだけではなく、時には自ら の言葉を交えて・・・

ルールの壁に悔しい思いをしながら、雰囲気の違いに驚きながらも、兎に角挑戦する気概だけは持ち続けて行きたいと思います!



地方議会改革の旗手 ビアンキ・アンソニー氏が刈谷に!!

1月3日、中日新聞の社説に「ビアンキ議長の挑戦」とのタイトルで、地方議会改革の旗手として注目されている犬山市議会議長(当時)のビアンキ・アンソニー氏のことが取り上げられていました。「地方議会のあり方を皆で考える機会として、ぜひ話を伺いたい」と思っていたのですが、ご本人が議長をされ多忙であったこと、そして私自身の県会議員選挙もありなかなか日程が合わずにいたのですが、この度願いが叶ってお越し頂けることになりました。入場は無料、どなたでも参加出来ます。刈谷市議会も新たな顔ぶれとなる今、地方議会について一緒に考えてみませんか。

フリースピーチで深化する議会

講師 ビアンキ・アンソニー氏(前 犬山市議会議長)

日時 7月21日(日) 午後2時~

会場 刈谷市産業振興センター604号室





